TOURATECH Japan

暫定版

原本作成　2008/04
日本語訳作成　2009/08

01-040-2015-0、01-040-3015-0

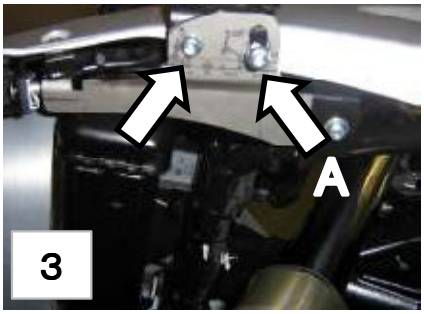
取り扱い説明書
フォグ・サイドライト（左）　R1200GS/ADV（2008-）　040-3015
フォグ・サイドライト（右）　R1200GS/ADV（2008-）　040-2015

梱包内容:
1×フォグライト本体（片側）
1×取付けブラケット一式
1×電装系一式
1×取り扱い説明書

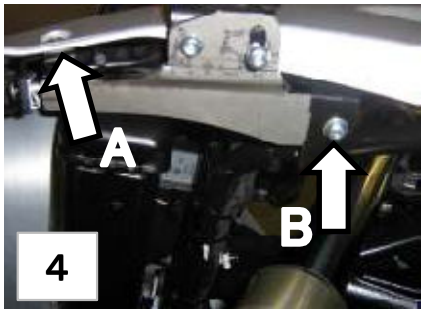
注意:重要な補足事項
作業の間、バッテリを取り外して下さい！
定期的に配線と各部の取付け具合を点検して下さい
またこの取り扱い説明書は左用と右用を兼ねています
掲載されている写真は左右用が混在しています

1）写真（1）に図示されているボルトを外すことでサイドフェアリングをGSから取り外します。

2）フォグライト本体とブラケットをM6×14ボルトとM6のワッシャー（大と小）を用いて組み合わせます（写真2）。ワッシャー（大）は角度を調整するための楕円形の穴に使用されます。



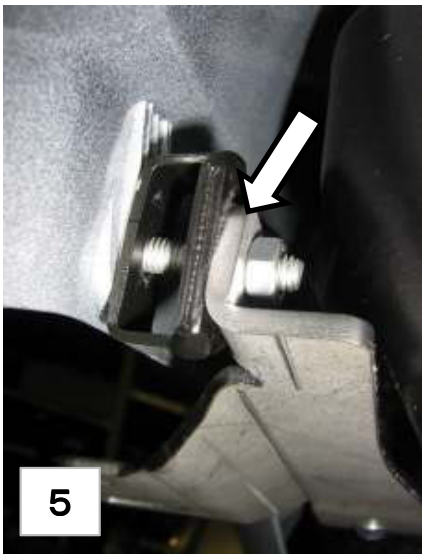
3）ライトブラケットをGSにM6×16ボルトとM6のワッシャー（大と小）を用いて取り付けます（写真3）。ワッシャー（大）は角度を調整するための楕円形の穴(写真3のA）で使用されます。



4）フロントフェンダーの根元のボルトを取り除いて下さい（写真4のA）。そして裏側になるナットを取り除きます。

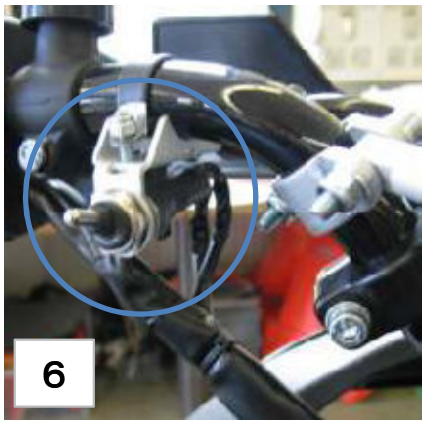
5）ブラケットを取り付けるために、M5×30ボルトをフェンダーの取付け部に挿入して下さい（写真4のA）。ブラケットの後部を固定して下さい（写真4のB）。

01-040-2015-0、01-040-3015-0



M5×30ボルトとM5ナイロックナットとM5ワッシャー(小)でブラケット前部をフェンダーに固定して下さい(写真5)。

M6ナイロックナットとM6ワッシャー(小)で両側からブラケットの後部部分を固定します。

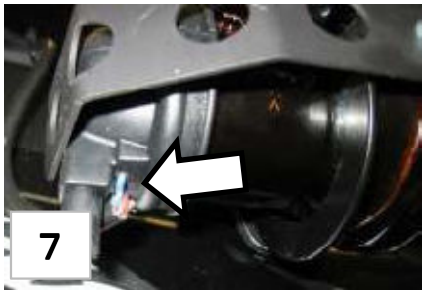


6)ハンドルバーの左側にフォグライトのスイッチを用意して下さい。そして二つのM4×10ボルト、M4ナイロックナット、およびマウントでそれを固定します。それは上下に操作するように取り付けます(写真6)。

7)赤い配線の先端にリング端子を取り付けてバッテリのプラス側へ送って下さい。同じようにして茶色い配線をバッテリのマイナス側へ送って下さい。ただしまだバッテリーには接続しないで下さい。そして直接風雨にさらされないような場所へリレーとヒューズホルダーを取り付けます。

黄色い配線をフロントヘッドライトの上へ送って下さい。そしてヘッドライトの背後にあるゴムカバーを慎重に取り外して下さい。

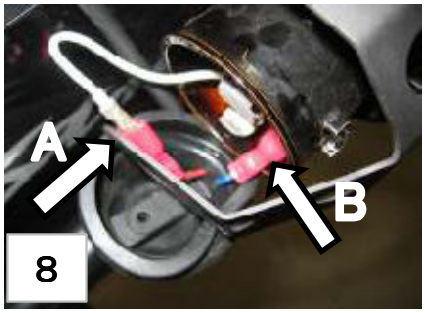
8)赤(ピンク)の接続コネクタを用いて、フォグライトの黄色い配線と、純正のロービームの配線を接続します。そして配線を適切な長さにまとめた後、再びゴムカバーを慎重に閉じます。
赤と青の配線をフォグライトへ送って下さい。



フォグライトの後ろについているゴムキャップを取り外して下さい。

配線を適切な長さに整えて下さい。そしてフォグライトのゴムキャップにある二つの小さな丸い穴にそれらを通して下さい(写真7)。

01-040-2015-0、01-040-3015-0



赤色の配線と青色の配線の先端にそれぞれ平端子を接続して下さい。
バブルのプラス端子（中央から出ている白い線）に赤い配線（写真8のA）を、マイナス端子（外側の端子）に青い配線（写真8のB）を先ほど接続した平端子で繋いで下さい。
ゴムキャップを付け直して下さい。

手順（7）で用意した配線をバッテリに接続して下さい。ロービームが点灯している時に、フォグランプの操作（点灯／消灯）ができれば正常です。

光軸を調整した後で、全てのボルトをしっかりと締めて下さい。そしてM6×10でフォグライトにアルミニウムのカバーを取り付けて下さい。

配線が各部で可動部や熱を持つ部分に接したり挟まれたりしていないかを確認して下さい。場所によってはタイラップで配線を固定することで安全を確保して下さい。

9）車体側のブラケットでも光軸を調整することができます。

10）逆の順序で取り外されたフェアリングなどを再び取り付けます。そして試運転の前と後に必ず全てのボルトと配線の取付けと機能を確認して下さい。

注意事項

本商品の取付けは専門の知識を持った人間か、専門のショップで行って下さい。取付け作業時に生じたいかなる物的・人的損失につきましてもTOURATECHおよびTOURATECH Japanは責任を負いません。
また取り付けた後は定期的に電気配線ならびに各部ボルトの状態を点検して下さい。そして場合によっては調整を行って下さい。長期間に渡り未点検・未調整で使用を続けた結果生じたいかなる物的・人的損失につきましてもTOURATECHおよびTOURATECH Japanは責任を負いません。